

平成25年度 第3四半期連結決算概要

1.平成25年度 第3四半期 決算実績 <対前期>

(1)決算実績のポイント

増収減益：増収は4期連続、減益（当期純利益ベース）は2期ぶり。
売上高は歴代1位(これまでの過去最高は24年)。

ガス販売量	△695百万m ³	:気温影響による暖房・給湯需要等の家庭用需要減 :発電用ガスをトーリング契約へ変更したことによる(△709)工業用需要減
売上高	+999億円	:家庭用需要落ちこみも、原料費調整により都市ガス売上は460億円増 :LNG販売等のその他エネルギー売上高118億円増
営業費用	+1,110億円	:ガス原材料費が円安影響等により567億円増(当期6,420←前期5,853) :LNG販売等のその他エネルギーに関わる費用が増
営業外損益	△73億円	:為替差損益△57億円(当期△45←前期12) :専用設備料収入△22億円(当期5←前期27)
特別損益等	△14億円	: (当期) 固定資産売却益6億円、減損損失△21億円 : (前期) 関係会社株式売却益29億円、投資有価証券売却益9億円、 投資有価証券評価損△33億円、減損損失△6億円

<25年12月末現在連結会社数:連結子会社69社、持分法適用関連会社6社>

(単位:億円)

決算実績表	25年度3Q	24年度3Q	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	10,130	10,825	△ 695	△ 6.4
(参考)トーリング込ガス販売量(※)	11,207	11,252	△ 45	△ 0.4
売上高	14,353	13,354	999	7.5
営業費用	13,474	12,364	1,110	9.0
営業利益	878	990	△ 112	△ 11.3
経常利益	831	1,017	△ 186	△ 18.3
当期純利益	551	640	△ 89	△ 13.8

(※)トーリング契約：電力販売者が発電に必要な燃料ガスを調達して発電事業者に渡し、発電事業者はそれで受託発電し
電力販売者に引渡して受託発電料を得る契約

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)(※)
25年度3Q	99.36	109.44	20.4
24年度3Q	79.95	113.98	19.7

(※)お客さまそれぞれの、ご使用期間(前月の検針日から当月の検針日まで)における気温を平均したものの。

(2)ガス販売量

		25年度3Q	24年度3Q	増減	%	
お客さま件数	千件	11,057	10,933	124	1.1	
ガス販売量	家庭用	百万m ³	2,025	2,144	△ 119	△ 5.5
	業務用	百万m ³	1,994	2,021	△ 27	△ 1.3
	工業用	百万m ³	4,669	5,232	△ 563	△ 10.8
	計	百万m ³	6,663	7,252	△ 589	△ 8.1
	他事業者向け供給	百万m ³	1,442	1,430	12	0.9
合計	百万m ³	10,130	10,825	△ 695	△ 6.4	

家庭用 :気温が前期と比べて高く推移した影響による暖房・給湯需要減
業務用 :春先及び初冬の気温が前期と比べて高く推移した影響による給湯需要減
工業用 :幹線開通に伴う新規需要の開発及び発電用需要の増があるものの、トーリング
影響(△709)による減
他事業者向け供給 :供給先事業者の需要増

(3)セグメント別売上高・セグメント利益(対前期)

(単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	25年度3Q	24年度3Q	増減	%	25年度3Q	24年度3Q	増減	%
都市ガス	10,148	9,688	460	4.8	823	933	△ 110	△ 11.7
器具及びガス工事	1,521	1,472	49	3.3	55	33	22	63.8
その他エネルギー	2,524	2,406	118	4.9	202	207	△ 5	△ 2.4
(電力)	966	938	28	2.9	140	140	0	△ 0.5
不動産	213	226	△ 13	△ 5.9	45	48	△ 3	△ 5.6
その他	1,332	1,354	△ 22	△ 1.6	75	94	△ 19	△ 20.3
(海外)	135	77	58	74.0	18	24	△ 6	△ 26.3
調整額	△ 1,388	△ 1,794	406	-	△ 324	△ 327	3	-
連結	14,353	13,354	999	7.5	878	990	△ 112	△ 11.3

(注)セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは各セグメントに配賦していない全社費用。

(4)主要計数

(単位:億円、%)

	25年度3Q	24年度3Q	増減		25年度3Q	24年度3Q	増減
設備投資	1,746	1,179	567	D/Eレシオ	0.80	0.69	0.11
営業キャッシュ・フロー	1,578	1,661	△ 83	ROA	2.7	3.4	△ 0.7
有利子負債	7,589	6,425	1,164	ROE	5.9	7.5	△ 1.6

(注)有利子負債、D/Eレシオは25年3月末との比較

2.平成25年度 通期見通し <対前回(10.30)見通し>

(1)通期見通しのポイント 対前回増収減益(対前期も増収減益(当期純利益ベース))

ガス販売量	:発電用需要を含む工業用需要の増加、及び足元の低気温影響による家庭用需要の増加により、 0.9%増加の見通し
売上高	:ガス販売量の増加、及び円安に伴う売上単価増による都市ガス事業の増収等により、 60億円増加の見通し
営業費用	:主に都市ガス原材料費の増加により、150億円増加の見通し
営業利益	:器具及びガス工事事業等で増益となるものの、都市ガス事業の減益が大きく、90億円減少の見通し
当期利益	:経常利益の減少(前回見通し△100億円)により、60億円減少の見通し :前提となる経済フレームは、1月以降為替レート105円/\$、原油価格110\$/bbl

(単位:億円)

	今回	前回	増減	%	24年度	増減	%
ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)	14,609	14,483	126	0.9	15,390	△ 781	△ 5.1
(参考)トーリング込ガス販売量	16,121	15,991	130	0.8	15,986	135	0.8
売上高	20,860	20,800	60	0.3	19,156	1,704	8.9
営業費用	19,360	19,210	150	0.8	17,700	1,660	9.4
営業利益	1,500	1,590	△ 90	△ 5.7	1,456	44	3.0
経常利益	1,430	1,530	△ 100	△ 6.5	1,474	△ 44	△ 3.0
当期純利益	970	1,030	△ 60	△ 5.8	1,016	△ 46	△ 4.6

(単位:億円)

経済フレーム	為替レート(¥/\$)	原油価格(\$/bbl)	平均気温(°C)
25年度	100.77	109.58	17.1
24年度	82.91	113.88	16.6

為替・原油変動影響感度(4Q)	売上高	原料	粗利
円・ドルレートが¥1/\$円安	5	22	△ 17
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	0	1	△ 1